

施策評価調書(元年度実績)

				施策コード	Ⅲ-4-(2)	
政策体系	施策名	広域交通ネットワークの整備推進	所管部局名	土木建築部、企画振興部		
	政策名	「まち・ひと・しごと」を支える交通ネットワークの充実	関係部局名	土木建築部、企画振興部		
				長期総合計画頁	151	

【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③
取組項目	広域道路交通網の整備推進	東九州新幹線整備等鉄道の 高速化の促進	広域交通ネットワークの強靱化の推進

【Ⅱ. 目標指標】

	指 標	関連する 取組No.	基準値		元年度			6年度	目標達成度(%)											
			年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	25	50	75	100	125							
i	大分市中心部まで概ね60分で到達できる地域の割合(%)	①、③	H26	73	76	76	100%	78												
ii	九州の東の玄関口としての拠点化主要施設まで概ね30分で到達できる地域の割合(%)	①、③	H30	52	52	52	100%	54												

【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理 由 等		平均評価
i	達成	大分空港道路の4車線化により、目標値を達成した。	達成
ii	達成	大分空港道路の4車線化により、目標値を達成した。	

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	<ul style="list-style-type: none"> ・中九州横断道路「竹田～阿蘇間」及び中津日田道路「三光本耶馬溪道路」の整備促進と、中津日田道路「耶馬溪道路」「日田山国道路」の整備支援及び「耶馬溪山国道路」の補助事業採択について国への要望活動を引き続き実施した。 ・東九州自動車道佐伯弥生PA(上り線)が供用を開始した。(R1.9月) ・中津日田道路のうち耶馬溪道路ではR2年度開通に向け整備を推進した。
②	<ul style="list-style-type: none"> ・県、沿線市町などで構成する日豊本線高速・複線化大分県期成同盟会において、日豊本線の高速・複線化について国、JR九州に対し要望を行った。 ・東九州新幹線の整備計画路線への格上げに向けて、県民の機運醸成のためのシンポジウムの開催やポスターの作成、国への要望等を行った。
③	<ul style="list-style-type: none"> ・鶴崎大南線別保橋など緊急輸送道路上の橋梁について、落橋を防ぐ耐震対策を実施した。 ・災害時の輸送の代替性を確保するため、東九州自動車道の4車線化に向け、国や関係機関への要望活動を引き続き実施し、「院内IC～速見IC間」及び「大分宮河内IC～佐伯IC間」が概ね10年から15年程度で4車線化を目指す「優先整備区間」に指定された。

【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(元年度事業)	事務事業評価	
		成果指標の達成率(%)	掲載頁
①	(公)道路改良事業	—	324
②	東九州新幹線推進事業	178.8	324
③	道路施設補修事業	—	120
	港湾整備事業	—	320

【VI. 施策に対する意見・提言】

<p>○土木建築委員会への市町村長要望(R1.6)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域高規格道路「中九州横断道路」の「竹田～阿蘇間」の早期完成に配慮をお願いする。 ・地域高規格道路「中津日田道路」の「日田山国道路」および「耶馬溪道路」の事業推進並びに国交省直轄事業である「三光本耶馬溪道路」の早期完成に向けて力添えをお願いする。 ・耶馬溪町から山国町間の早期事業化に尽力を賜うようお願いする。 ・東九州自動車道の鹿児島までの全線完成に加え、暫定2車線区間の4車線化に向け配慮をお願いする。 	<p>○大分県商工会議所連合会知事要望(R1.10)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東九州自動車道の県内全線4車線化の早期完成について特段の配慮をお願いする。 ・地域高規格道路中九州横断道路(竹田～阿蘇間)の早期完成を国や関係機関に働きかけていただくよう特段の配慮をお願いする。 ・中津日田道路の建設促進について特段の配慮をお願いする。 <p>○経済5団体「東九州新幹線の早期実現について」の要望(R1.11)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東九州新幹線の早期実現について特段の配慮をお願いする。
---	--

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> ・中九州横断道路の「竹田～阿蘇間」はR1年度に新規事業化された。ただし、中九州横断道路や中津日田道路などの地域高規格道路は未だ整備途上であることから、人や物の流れを活性化させ、観光や産業を発展させる地域高規格道路の整備を推進する。 ・東九州自動車道「宇佐IC～院内IC間」、「宮河内IC～津久見IC間」はR1年度に4車線化が新規事業化された。引き続き、「優先整備区間」の早期事業化を要望していく。 ・東九州新幹線の整備計画路線への格上げに向けて、国等へ強く働きかけていくとともに、県民の機運醸成を図るため、シンポジウムや説明会を開催し、将来を担う若い世代を含む幅広い世代に周知を行う。